

2020年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1493400095	事業の開始年月日	平成19年4月1日
		指定年月日	平成19年4月1日
法人名	ALSOK介護株式会社		
事業所名	グループホームみんなの家・横浜宮沢2		
所在地	(246-0038) 神奈川県横浜市瀬谷区宮沢 4-5-12		
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
	<input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	定員計	18 名
		通い定員	名
		宿泊定員	名
		ユニット数	2 ユニット
自己評価作成日	令和 2年 12月 14日	評価結果 市町村受理日	令和3年5月17日

※事業所の基本情報は、介護サービス公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	http://www.wam.go.jp/wamappl/hyoka/003hyoka/hyokanri.nsf/pSearch3?Open
----------	---

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

令和2年度はホーム理念を職員と話しあい、「その人の今を大切に!」に変更致しました。コロナ感染防止のために散歩等の外出レクを自粛しておりますが、感染状況が改善されたら、以前のように外出レク・地域交流も積極的に取り組んで、ご利用者さまが潤いのある生活が出来るように努めて行きます。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鶴沼橋1-2-7 藤沢トーセイビル3階		
訪問調査日	令和3年2月1日	評価機関 評価決定日	令和3年4月19日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

事業所は、相鉄本線「三ツ境」駅よりバス停「宮沢」または相鉄いずみ野線「いずみ野」駅よりバス停「阿久和団地西」下車、いずれも徒歩9分の和泉川宮沢遊水地公園に面し自然に恵まれた場所にあります。運営法人が「ALSOK介護株式会社」となり、より高品質なサービスを提供できる体制となっています。

<優れている点>

開設以来13年が経過し、事業所の状況や社会情勢の変化もあり、事業所独自の理念を見直し、「その人の今を大切に!」と変更しています。管理者は職員へ「利用者と一緒に生活を共に楽しんでいこう」と伝えています。利用者に合った声かけや話し方で、利用者の気持ちを自然に引き出せるように心がけています。スタッフ会議、カンファレンス、日々の申し送り、居室担当の話などを通して、自分から意思表示が難しい人の声なき思いも汲み取るように努めています。行事やイベントは、職員が担当委員として企画・立案して行っています。初釜では茶道を習っている職員が毎年行うなど、職員の意見や提案を運営に活かしています。夏場は希望者へ入浴日以外にシャワー浴にも応じ、さっぱりしてもらっています。介護度が高い利用者はリフト対応で湯舟に入っています。

<工夫点>

献立は、本社の管理栄養士が季節感などを考慮して作成しています。調理は専門の職員を配置し、職員は介護に専念することができるようになっています。利用者への禁句例集を作成し、スピーチロックに注意を払っています。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホームみんなの家・横浜宮沢2
ユニット名	1F

V アウトカム項目		
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="checkbox"/>	1, ほぼ全ての利用者の
	<input type="checkbox"/>	2, 利用者の2/3くらいの
	<input type="checkbox"/>	3. 利用者の1/3くらいの
	<input type="checkbox"/>	4. ほとんど掴んでいない
57 利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="checkbox"/>	1, 毎日ある
	<input type="checkbox"/>	2, 数日に1回程度ある
	<input type="checkbox"/>	3. たまにある
	<input type="checkbox"/>	4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="checkbox"/>	1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="checkbox"/>	2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="checkbox"/>	3. 利用者の1/3くらいが
	<input type="checkbox"/>	4. ほとんどいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	<input type="checkbox"/>	1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="checkbox"/>	2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="checkbox"/>	3. 利用者の1/3くらいが
	<input type="checkbox"/>	4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	<input type="checkbox"/>	1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="checkbox"/>	2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="checkbox"/>	3. 利用者の1/3くらいが
	<input type="checkbox"/>	4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="checkbox"/>	1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="checkbox"/>	2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="checkbox"/>	3. 利用者の1/3くらいが
	<input type="checkbox"/>	4. ほとんどいない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	<input type="checkbox"/>	1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="checkbox"/>	2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="checkbox"/>	3. 利用者の1/3くらいが
	<input type="checkbox"/>	4. ほとんどいない

63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="checkbox"/>	1, ほぼ全ての家族と
	<input type="checkbox"/>	2, 家族の2/3くらいと
	<input type="checkbox"/>	3. 家族の1/3くらいと
	<input type="checkbox"/>	4. ほとんどできていない
64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="checkbox"/>	1, ほぼ毎日のように
	<input type="checkbox"/>	2, 数日に1回程度ある
	<input type="checkbox"/>	3. たまに
	<input type="checkbox"/>	4. ほとんどない
65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="checkbox"/>	1, 大いに増えている
	<input type="checkbox"/>	2, 少しずつ増えている
	<input type="checkbox"/>	3. あまり増えていない
	<input type="checkbox"/>	4. 全くいない
66 職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="checkbox"/>	1, ほぼ全ての職員が
	<input type="checkbox"/>	2, 職員の2/3くらいが
	<input type="checkbox"/>	3. 職員の1/3くらいが
	<input type="checkbox"/>	4. ほとんどいない
67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="checkbox"/>	1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="checkbox"/>	2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="checkbox"/>	3. 利用者の1/3くらいが
	<input type="checkbox"/>	4. ほとんどいない
68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="checkbox"/>	1, ほぼ全ての家族等が
	<input type="checkbox"/>	2, 家族等の2/3くらいが
	<input type="checkbox"/>	3. 家族等の1/3くらいが
	<input type="checkbox"/>	4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	本年度に職員と話し合いをし、ホーム理念の変更を致しました。ホーム理念はフローア、事務所等、常に目につく場所に掲示している。スタッフ会議やケアカンファレンス、日々の申し送り等を通じて理念の共有化を図っております。	開設13年が経過し、事業所の状況や社会情勢の変化もあり理念を見直し「その人の今を大切に！」としています。会議やカンファレンス、日々の申し送り、居室担当者の話などを通して意思表示が難しい方の思いも汲み取るように努め、実践につなげています。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域の自治会へ加入、地域行事への参加、ホーム前の宮沢遊水地公園利用者へのトイレの開放して、沢山の方々に利用して頂いております。また、宮沢水辺愛護会に加入して、毎月第二日曜日に実施している、宮沢遊水地公園の清掃活動にも参加しております。	自治会へ加入しており、例年は地域行事への参加、幼稚園児との交流会、クリスマス会、夏祭りなど、地域とのつきあいを活発に行っています。今年度はコロナ感染防止のため自粛する状況となっております。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	運営推進会議等でホームとして何が出来るのか、提案をしているが、具体的に活動するまでにはなっておりません。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議はコロナ感染防止のため、地域住民の参加しての会議は開催しておりません。活動報告については瀬谷区役所の高齢支援課へ提出しております。	コロナ禍前は2ヶ月ごとに開催し、事業所の活動報告や地域への情報提供を行い意見交換をし、行事やイベントに参加してもらうなど、事業所運営に活かし有意義な会議となっております。今年度はコロナ感染防止のため、地域の人々の参加は自粛となっております。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	市区町村などで実施する各種研修に参加しております。横浜市グループホーム連絡協議会にも加入して情報提供頂いております。また、生活保護ケースについては、担当ワーカーと連絡、報告を密にしております。	各種研修への参加、活動報告、市グループホーム連絡会への参加、ケースワーカーとの連携、介護認定更新時に担当課に出向くなど、情報交換をして協力関係を築いています。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	ホーム内に身体拘束廃止委員会を設置して、偶数月に年6回開催して身体拘束のない介護について話し合っております。	「身体拘束廃止委員会」を定期的に開催し、事例を上げて話し合っています。利用者への禁句例集を作成し、スピーチロック（言葉による抑制）にも注意を払っています。職員に不適切な対応があれば、個別に注意をして啓発に努めています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	施設内に虐待防止委員会を設置して、奇数月年6回委員会を開催して、言葉かけや援助などに虐待の要素がないか確認しあっている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	利用者の権利、自立支援を図るため、毎月、カンファレンスを実施してその人に添った支援を職員が共通認識を持って支援している。また、家族様がいらっしゃらない利用者には成年後見制度を利用して頂いております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時に契約書の内容を、読み合わせしながらお互いに確認している。その都度、疑問、質問受けてご理解を頂いております。特にご家族様の関心ごとの退去については、当ホームの考え方を詳細に説明しております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	アンケートのようなものは、外部評価の時以外には特にとっておりません。玄関先に苦情相談窓口先を掲示しています。また、ご意見を何う用紙を置いて直接本社のお客さま相談係へ届くようにしております。	年2回の家族会や日ごろの来訪時などに意見や要望を聞いています。直接本社へ届いたものはスタッフ会議にて職員へ伝え、運営に反映させています。今年度はコロナ禍のため、電話や手紙でコミュニケーションを図っています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	管理者は職員との個別面談やスタッフ会議などで意見を聞いております。	管理者は、職員全員との年2回の個人面談をはじめ日常的にも個々の想いを聞いています。行事やイベントは職員が担当委員として企画・立案して行っています。また、初釜では茶道を習っている職員が毎年行うなど、職員の意見や提案を運営に活かしています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	個々の勤務状態、業務に対する姿勢など自己啓発として年2回人事考課を自己評価、上司評価を実施して昇格、昇給に反映させている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	会社内のスキルアップ研修、ホーム長フロア長、ケアマネなどの職階別研修、マナー研修などを実施している。無資格者へは当社のヘルパー2級取得研修を実施して取得して頂いている。新入職員には、管理者が介護従事者としての心構えを個別指導している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	瀬谷区、旭区グループホーム連絡会に加入して情報提供して頂いております。当ホーム周辺には4ヶ所のグループホームがあり交流している。また、神奈川県内に35ヶ所のみんなの家のホームがあり、月に一度集まって意見を交換しております。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	ご利用に繋がらなくても、ご利用者様、ご家族様などの相談を受け入れてホーム見学をして頂いて、ホームが出来る範囲内の助言をしている。また、入居前にご自宅にお伺いしてご本人、ご家族様の希望、要望を聞いております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	ご利用者様、ご家族様からの相談、要望などをきちんと傾聴し、入居に際して、ご本人の不安感の解消等をケアプラン等に反映させております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	入居前にご自宅へお伺いして希望、要望を聞いて、状況を客観的に把握してご利用者様、ご家族様にとって最善の生活が送れるように努めております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	常日ごろより、職員に指導していることは、介護しているのではなく、ご利用者様と一緒に生活をし、生活を共に楽しんでいくという考えを指導しておりますが、職員によっては、ばらつきがあるのが現実です。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	それぞれのご家族が抱えるご事情に配慮しながら、ご利用者様、ご家族様からの希望、要望などに耳を傾けご利用者様を支えております。面会時、電話、宮沢2たよりなどにてご利用者様の近況報告をしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	ご本人が習いごとをしていた時代のお仲間や、住んでいた近隣の友人などへご家族様とおして、関係性が途切れないように支援しております。	今年度はコロナ禍のため、外部の人たちとの交流は自粛しています。利用者の要望があれば手紙や電話での交信を手伝っています。例年では、友人や仲間の来訪、外食、外泊、墓参り、旅行など馴染みの方たちや場所との関係が途切れないように支援しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	食事の時の席などを工夫しながら、利用者同士の相性などを考慮して利用者同士が良好な関係が出来るようにしております。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	ご利用者様、ご家族様の意向に沿って支援しております。居宅介護支援事業所、ケアマネへの情報提供、各種介護サービスの情報提供などをしております。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご本人の生活、行動パターンをよく観察し、言葉からだけではない思いや意向に気づけるよう努力している。	生活歴や家族などの話、日々の会話や表情・仕草から利用者の希望や意向を把握しています。散歩や入浴時には本音で話してくれる事も多々あります。把握した内容はカンファレンスやスタッフ会議などで共有して支援に活かしています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	ご家族様や、以前利用の介護サービスからの情報を入手することに加え、ご本人との個別の会話からも把握している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	入居直後については、声かけを密にしてご利用者様の日常の行動パターンの把握に努めております。状態に変化があった時には、記録や申し送りをしてスタッフ間の認識を統一して処遇にあたっております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	申し送りや連絡ノートを活用して、必要に応じてご家族様と連絡を取り合い、要望を聞き、サービス担当者会議にて検討してケアプランに反映させております。	ケアプランは、申し送りや連絡ノートを活用し利用者や家族、医療関係者の意向を入れて作成しています。モニタリングおよびカンファレンスを行って短期3ヶ月、長期6ヶ月ごと、必要に応じ随時見直し、現状に即したケアプランを作成しています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	日々起こる利用者様の様々な変化を記録することで職員間で情報共有し、課題とする事例についてサービス担当者会議等で話し合い、実践できる介護計画の見直しに活用している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	職員一人一人がケアの工夫をして、管理者は利用者に関するケアについて職員にアイデア、ヒントを聴いてケアに反映している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	火災等災害発生時の協力の要請等について、運営推進会議にて説明し了解して頂いております。地域の中でグループホームの利用者が安全に暮らせるように、地域と良い関係が保てるように努めております。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	入居時に強力医療機関の説明を行ない納得した上で契約を結んで頂いている。常に連絡をとり情報の共有を図っております。協力医療機関以外に、ご利用者様、ご家族様の希望によっては他の医療機関への受診している方もおります。	全利用者が納得の上、事業所の協力医をかかりつけに変更しています。入居前にかかっていた病院に通う必要がある場合、基本は家族対応を依頼していますが、家族の都合や状況により、職員が付き添うこともしています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	訪問看護師の定期訪問時、日常の変化があったことなどを医療連携看護師連絡記録へ記入して情報を共有しております。異変発生時には連絡を取り合い指示を受けている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	病院の医師、ソーシャルワーカーと連絡を密にして現況や早期退院を働きかけております。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所で行えることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	重度化した時の指針を入居時に配布説明している。ホームでの医療行為についても実施可能、不可能の説明をして、ご理解を頂いております。ご家族様が重度化や終末期を認められる状態になるタイミングを計りながら方針について再度お話しするようにしている	入居時に重度化・看取りの指針に基づいた説明をしています。生活を重ね、重度化と医師が判断した場合には、再度話し合い、方針を共有しています。職員への看取りに関する研修は定期的で開催しています。これまでに複数の看取り事例があります。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	緊急時の対応方法を掲示し、救急対応マニュアルを作成している。個々の職員は消防署主催の救急、救命講習に参加していますが、全ての職員が応急手当てや緊急時の初期対応が出来るまでにはなっておりません。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	年2回、水害・消火・避難・通報訓練を実施している。また、地域主催の防災訓練にも参加している。地域の避難場所を確認したり、緊急時の職員の連絡網作成している。運営推進会議にて災害時の協力をお願いしている。	夜間想定、水害を含む避難訓練を年3回実施しています。例年であれば消防署の協力のほか、近隣住民数名の参加もありますが、コロナ禍のため、地域への訓練の案内は控えています。災害備蓄品（水・食品）は3日分を保管・管理しています。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	プライバシーやその人の人格、人権の尊重を十分図るよう各種会議にて指導している。言葉づかいについても禁句例集を作成して、周知徹底を図っております。	人生の先輩として敬い、本人の誇りやプライバシーを損ねない呼び掛けや言葉遣い、態度で接するようにしています。状況により、管理者が職員の対応に配慮不足を感じたときは、後日個別に話す時間をつくり、注意喚起を促しています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	出来るだけ、ご本人に合った声かけや、話し方をして相手の気持ちを自然引き出すよう心がけている。また、ご本人の表情や言動に留意して自己決定を尊重したケアに努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	個人個人の生活リズム、生活パターンを尊重した生活の確保に努めております。家庭の延長を基本にして、ホームのスケジュールに無理に合わせなくても良いよう配慮していますが、職員側の決まりや都合が優先しがちになることもあります。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	訪問理美容、訪問シニアセラピーの受け入れをしている。ご本人、ご家族様が希望すれば他の理美容も利用可能としている。愛着のあるアクセサリ等を持参されている方もおります。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	ご利用者様と一緒に会話をしながら食事をし、楽しく食事が出来るよう配慮している。無理のない程度に食後の食器片付け、洗い、拭きをお手伝いして頂いております。イベントメニューや嗜好を聞きながら外食を実施している。	献立は、本社の管理栄養士が季節感などを考慮し作成しています。調理は専門の職員を配置しています。利用者は下膳、食器洗い・拭きなど無理のない範囲で手伝っています。夏祭り・クリスマス・ひな祭りなど、行事に因んだ食事も楽しんでいます。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	往診医師・歯科医師・訪問看護師に相談しながら支援をしております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	食後の歯磨き、入れ歯洗浄、清掃、うがいなどを実施している。訪問歯科にて歯のトラブル、口腔ケアに対応しております。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	個々の排泄パターンを把握して、声かけ誘導して極力トイレでの自力排泄に努めている。	排泄の状況をチェックして記録し、排泄パターンを把握した上で定時、随時の声かけや誘導、オムツ交換をしています。自立をしている場合も排泄状況を記録し、さり気なく様子を観察しています。その人に合った排泄支援方法を常に検討し、支援しています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	トイレでの排泄を基本において、援助方法をケアカンファレンスなどで検討している。水分を多めに摂取したり、運動（体操、レク、散歩）したりしている。また、慢性的な方には医師に相談して対応している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。	気持ちよく入浴出来るよう声かけのタイミングや雰囲気づくりをしている。入浴時間にもなるべくご本人の要望に沿うようにしています。	基本、週2回以上の入浴を支援しています。夏場はプラスでシャワー浴に応じ、さっぱりしてもらっています。介護度が高い利用者はリフト対応で湯舟に入っています。入浴を嫌う利用者には、時間や職員の誘い方を変えています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	冷暖房の温度や冬場の乾燥した時には湿度調整し、その日の状況に応じてゆっくり休めるよう支援している。日中のお昼寝の長さなどを考慮して一日を通してバランスのとれた睡眠の確保に努めている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	服薬している薬の内容は個々にファイルし、間違いのないよう薬袋に氏名、日付を記入している。薬の種類や用量が変わった時には申し送りをして職員が共通認識を持って対応しております。また、薬の内容については定期的にご家族様へ報告しております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	入居前にご自宅を訪問して、ご本人、ご家族様から生活歴、趣味活動、生活パターンを聞いてホームでもそれが継続して出来るよう支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	ご本人やご家族にお聞きしながら興味、関心のある事を日々の生活にいかせる支援している。本年度は外出支援(散歩他)はコロナ感染防止のため自粛しております。	現在、新型コロナウイルス感染拡大対策のため、外出は控えていますが、以前はホームの目の前の和泉川宮沢遊水地公園散歩や外気浴のほか、初詣、花見など季節の外出を楽しんでいました。個別の外出についても、家族の協力を得ていました。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	金銭管理はご家族様了解のもとで、事務所管理としております。数名の方は自己管理されております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	ご本人が家族の声が聞きたいとの要望や、ご家族様からの電話があった時は電話口に出て頂き、会話を楽しまれております。知人等への年賀状を書いて頂き投函を依頼する方もおります。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	各種行事の写真や季節の掲示物などを飾り、生活感や季節感を演出しています。	新型コロナウイルス感染拡大のため、掃除のほか、消毒、空間除菌装置の設置など、対策に力を入れています。各種行事の写真や季節の掲示物など飾り、生活感や季節感を出しています。リビングで利用者は楽器やDVDに合わせて歌を歌ったり、トランプをしたりレクリエーションを楽しんでいます。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	外の景色が見えるところに、ソファを置いてのんびり、ゆったり過ごせるような環境づくりに努めている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	入居時にご本人が使い慣れたもの、愛着のある品などを持ち込んで頂き、入居前の自室の雰囲気づくりをご家族様へお願いしている。	居室はエアコン、ベッド、照明が備え付けになっています。利用者は仏壇や鏡台などを持ち込み、使い慣れたもので生活出来るようにしています。居室担当職員が整理整頓、衣類の入れ替え、不足品のチェックなど居心地よく過ごせるよう支援をしています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	個々の持っている残存機能を活かし、安全に生活出来るよう工夫している。また、各自の自立支援のため生出来ないことだけへの一部支援としております。		

事業所名	グループホームみんなの家・横浜宮沢2
ユニット名	2 F

V アウトカム項目		
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="checkbox"/>	1, ほぼ全ての利用者の
	<input type="checkbox"/>	2, 利用者の2/3くらいの
	<input type="checkbox"/>	3. 利用者の1/3くらいの
	<input type="checkbox"/>	4. ほとんど掴んでいない
57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="checkbox"/>	1, 毎日ある
	<input type="checkbox"/>	2, 数日に1回程度ある
	<input type="checkbox"/>	3. たまにある
	<input type="checkbox"/>	4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="checkbox"/>	1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="checkbox"/>	2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="checkbox"/>	3. 利用者の1/3くらいが
	<input type="checkbox"/>	4. ほとんどいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	<input type="checkbox"/>	1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="checkbox"/>	2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="checkbox"/>	3. 利用者の1/3くらいが
	<input type="checkbox"/>	4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	<input type="checkbox"/>	1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="checkbox"/>	2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="checkbox"/>	3. 利用者の1/3くらいが
	<input type="checkbox"/>	4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="checkbox"/>	1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="checkbox"/>	2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="checkbox"/>	3. 利用者の1/3くらいが
	<input type="checkbox"/>	4. ほとんどいない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	<input type="checkbox"/>	1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="checkbox"/>	2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="checkbox"/>	3. 利用者の1/3くらいが
	<input type="checkbox"/>	4. ほとんどいない

63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="checkbox"/>	1, ほぼ全ての家族と
	<input type="checkbox"/>	2, 家族の2/3くらいと
	<input type="checkbox"/>	3. 家族の1/3くらいと
	<input type="checkbox"/>	4. ほとんどできていない
64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="checkbox"/>	1, ほぼ毎日のように
	<input type="checkbox"/>	2, 数日に1回程度ある
	<input type="checkbox"/>	3. たまに
	<input type="checkbox"/>	4. ほとんどない
65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="checkbox"/>	1, 大いに増えている
	<input type="checkbox"/>	2, 少しずつ増えている
	<input type="checkbox"/>	3. あまり増えていない
	<input type="checkbox"/>	4. 全くいない
66 職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="checkbox"/>	1, ほぼ全ての職員が
	<input type="checkbox"/>	2, 職員の2/3くらいが
	<input type="checkbox"/>	3. 職員の1/3くらいが
	<input type="checkbox"/>	4. ほとんどいない
67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="checkbox"/>	1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="checkbox"/>	2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="checkbox"/>	3. 利用者の1/3くらいが
	<input type="checkbox"/>	4. ほとんどいない
68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="checkbox"/>	1, ほぼ全ての家族等が
	<input type="checkbox"/>	2, 家族等の2/3くらいが
	<input type="checkbox"/>	3. 家族等の1/3くらいが
	<input type="checkbox"/>	4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。	本年度に職員と話し合いをし、ホーム理念の変更を致しました。ホーム理念はフローア、事務所等、常に目につく場所に掲示している。スタッフ会議やケアカンファレンス、日々の申し送り等を通じて理念の共有化を図っております。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域の自治会へ加入、地域行事への参加、ホーム前の宮沢遊水地公園利用者へのトイレの開放して、沢山の方々に利用して頂いております。また、宮沢水辺愛護会に加入して、毎月第二日曜日に実施している、宮沢遊水地公園の清掃活動にも参加しております。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	運営推進会議等でホームとして何が出来るのか、提案をしているが、具体的に活動するまでにはなっておりません。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議はコロナ感染防止のため、地域住民の参加しての会議は開催しておりません。活動報告については瀬谷区役所の高齢支援課へ提出しております。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	市区町村などで実施する各種研修に参加しております。横浜市グループホーム連絡協議会にも加入して情報提供頂いております。また、生活保護ケースについては、担当ワーカーと連絡、報告を密にしております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	ホーム内に身体拘束廃止委員会を設置して、偶数月に年6回開催して身体拘束のない介護について話し合っております。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	施設内に虐待防止委員会を設置して、奇数月年6回委員会を開催して、言葉かけや援助などに虐待の要素がないか確認しあっている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	利用者の権利、自立支援を図るため、毎月、カンファレンスを実施してその人に添った支援を職員が共通認識を持って支援している。また、家族様がいらっしゃらない利用者には成年後見制度を利用して頂いております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時に契約書の内容を、読み合わせしながらお互いに確認している。その都度、疑問、質問受けてご理解を頂いております。特にご家族様の関心ごとの退去については、当ホームの考え方を詳細に説明しております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	アンケートのようなものは、外部評価の時以外には特にとっておりません。玄関先に苦情相談窓口先を掲示しています。また、ご意見を伺う用紙を置いて直接本社のお客さま相談係へ届くようにしております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	管理者は職員との個別面談やスタッフ会議などで意見を聞いております。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	個々の勤務状態、業務に対する姿勢など自己啓発として年2回人事考課を自己評価、上司評価を実施して昇格、昇給に反映させている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	会社内のスキルアップ研修、ホーム長フローア長、ケアマネなどの職階別研修、マナー研修などを実施している。無資格者へは当社のヘルパー2級取得研修を実施して取得して頂いている。新入職員には、管理者が介護従事者としての心構えを個別指導している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	瀬谷区、旭区グループホーム連絡会に加入して情報提供して頂いております。当ホーム周辺には4ヶ所のグループホームがあり交流している。また、神奈川県内に35ヶ所のみんなの家のホームがあり、月に一度集まって意見を交換しております。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	ご利用に繋がらなくても、ご利用者様、ご家族様などの相談を受け入れてホーム見学をして頂いて、ホームが出来る範囲内での助言をしている。また、入居前にご自宅にお伺いしてご本人、ご家族様の希望、要望を聞いております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	ご利用者様、ご家族様からの相談、要望などをきちんと傾聴し、入居に際して、ご本人の不安感の解消等をケアプラン等に反映させております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	入居前にご自宅へお伺いして希望、要望を聞いて、状況を客観的に把握してご利用者様、ご家族様にとって最善の生活が送れるように努めております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	常日ごろより、職員に指導していることは、介護しているのではなく、ご利用者様と一緒に生活をし、生活を共に楽しんでいくという考えを指導しておりますが、職員によっては、ばらつきがあるのが現実です。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	それぞれのご家族が抱えるご事情に配慮しながら、ご利用者様、ご家族様からの希望、要望などに耳を傾けご利用者様を支えております。面会時、電話、宮沢2たよりなどにてご利用者様の近況報告をしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	ご本人が習いごとをしていた時代のお仲間や、住んでいた近隣の友人などへご家族様とおして、関係性が途切れないように支援しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	食事の時の席などを工夫しながら、利用者同士の相性などを考慮して利用者同士が良好な関係が出来るようにしております。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	ご利用者様、ご家族様の意向に沿って支援しております。居宅介護支援事業所、ケアマネへの情報提供、各種介護サービスの情報提供などしております。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご本人の生活、行動パターンをよく観察し、言葉からだけではない思いや意向に気づけるよう努力している。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	ご家族様や、以前利用の介護サービスからの情報を入手することに加え、ご本人との個別の会話からも把握している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	入居直後については、声かけを密にしてご利用者様の日常の行動パターンの把握に努めております。状態に変化があった時には、記録や申し送りをしてスタッフ間の認識を統一して処遇にあたっております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	申し送りや連絡ノートを活用して、必要に応じてご家族様と連絡を取り合い、要望を聞き、サービス担当者会議にて検討してケアプランに反映させております。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	日々起こる利用者様の様々な変化を記録することで職員間で情報共有し、課題とする事例についてサービス担当者会議等で話し合い、実践できる介護計画の見直しに活用している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	職員一人一人がケアの工夫をして、管理者は利用者に関するケアについて職員にアイデア、ヒントを聴いてケアに反映している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	火災等災害発生時の協力の要請等について、運営推進会議にて説明し了解して頂いております。地域の中でグループホームの利用者が安全に暮らせるように、地域と良い関係が保てるように努めております。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	入居時に強力医療機関の説明を行ない納得した上で契約を結んで頂いている。常に連絡をとり情報の共有を図っております。協力医療機関以外に、ご利用様、ご家族様の希望によっては他の医療機関への受診している方もおります。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	訪問看護師の定期訪問時、日常の変化があったことなどを医療連携看護師連絡記録へ記入して情報を共有しております。異変発生時には連絡を取り合い指示を受けている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	病院の医師、ソーシャルワーカーと連絡を密にして現況や早期退院を働きかけております。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	重度化した時の指針を入居時に配布説明している。ホームでの医療行為についても実施可能、不可能の説明をして、ご理解を頂いております。ご家族様が重度化や終末期を認められる状態になるタイミングを計りながら方針について再度お話しするようにしている		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	緊急時の対応方法を掲示し、救急対応マニュアルを作成している。個々の職員は消防署主催の救急、救命講習に参加している方もおりますが、全ての職員が応急手当や緊急時の初期対応が出来るまでにはなっていません。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	年2回、水害・消火・避難・通報訓練を実施している。また、地域主催の防災訓練にも参加している。地域の避難場所を確認したり、緊急時の職員の連絡網作成している。運営推進会議にて災害時の協力をお願いしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	プライバシーやその人の人格、人権の尊重を十分図るよう各種会議にて指導している。言葉づかいについても禁句例集を作成して、周知徹底を図っております。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	出来るだけ、ご本人に合った声かけや、話し方をして相手の気持ちを自然引き出すよう心がけている。また、ご本人の表情や言動に留意して自己決定を尊重したケアに努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	個人個人の生活リズム、生活パターンを尊重した生活の確保に努めております。家庭の延長を基本にして、ホームのスケジュールに無理に合わせなくても良いよう配慮していますが、職員側の決まりや都合が優先しがちになることもあります。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	訪問理美容、訪問シニアセラピーの受け入れをしている。ご本人、ご家族様が希望すれば他の理美容も利用可能としている。愛着のあるアクセサリ等を持参されている方もおります。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	ご利用者様と一緒に会話をしながら食事をし、楽しく食事が出来るよう配慮している。無理のない程度に食後の食器片付け、洗い、拭きをお手伝いして頂いております。イベントメニューや嗜好を聞きながら外食を実施している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	往診医師・歯科医師・訪問看護師に相談しながら支援をしております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	食後の歯磨き、入れ歯洗浄、清掃、うがいなどを実施している。訪問歯科にて歯のトラブル、口腔ケアに対応しております。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	個々の排泄パターンを把握して、声かけ誘導して極力トイレでの自力排泄に努めている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	トイレでの排泄を基本において、援助方法をケアカンファレンスなどで検討している。水分を多めに摂取したり、運動（体操、レク、散歩）したりしている。また、慢性的な方には医師に相談して対応している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。	気持ちよく入浴出来るよう声かけのタイミングや雰囲気づくりをしている。入浴時間にもなるべくご本人の要望に沿うようにしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	冷暖房の温度や冬場の乾燥した時には湿度調整し、その日の状況に応じてゆっくり休めるよう支援している。日中のお昼寝の長さなどを考慮して一日を通してバランスのとれた睡眠の確保に努めている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	服薬している薬の内容は個々にファイルし、間違いのないよう薬袋に氏名、日付を記入している。薬の種類や用量が変わった時には申し送りをして職員が共通認識を持って対応しております。また、薬の内容については定期的にご家族様へ報告しております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	入居前にご自宅を訪問して、ご本人、ご家族様から生活歴、趣味活動、生活パターンを聞いてホームでもそれが継続して出来るよう支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	ご本人やご家族にお聞きしながら興味、関心のある事を日々の生活にいかせる支援している。本年度は外出支援(散歩他)はコロナ感染防止のため自粛しております。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	金銭管理はご家族様了解のもとで、事務所管理としております。数名の方は自己管理されております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	ご本人が家族の声が聞きたいとの要望や、ご家族様からの電話があった時は電話口に出て頂き、会話を楽しまれております。知人等への年賀状を書いて頂き投函を依頼する方もおります。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	各種行事の写真や季節の掲示物などを飾り、生活感や季節感を演出しています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	外の景色が見えるところに、ソファを置いてのんびり、ゆったり過ごせるような環境づくりに努めている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	入居時にご本人が使い慣れたもの、愛着のある品などを持ち込んで頂き、入居前の自室の雰囲気づくりをご家族様へお願いしている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	個々の持っている残存機能を活かし、安全に生活出来るよう工夫している。また、各自の自立支援のため生出来ないことだけへの一部支援としております。		

令和2年度

目標達成計画

事業所名 GHみんなの家横浜宮沢2

作成日： 令和 3年 5月 5日

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		看取りは以前2名実施しましたが、5~6年経過し、職員も入れ代わりもあり、再度看取り研修を実施する。	看取りのケースが発生した時に備えて、職員全員が看取りについて心構えや知識習得のため、看取り研修を実施する。	定期的に(年二回程度)研修を実施する。	1年
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月